

# 平成26年度第4回一関市医療と介護の連携連絡会研修会

## アンケート調査結果

### 1 開催状況

- (1) 日時 平成26年11月15日(土)  
14:00~16:30
- (2) 場所 一関市役所千厩支所
- (3) 目的 医療と介護の円滑な連携
- (4) 対象者 医療関係者、高齢者施設従事者、介護サービス事業関係者、行政関係者等
- (5) 参加者 30名
- (6) 主催 一関市医療と介護の連携連絡会
- (7) プログラム

---

日時：平成26年11月15日(土)  
14:00~16:30  
場所：一関市役所千厩支所  
2階 大会議室

### 次 第

1 開 会 14:00

2 挨 拶

3 グループワーク 14:05~16:30

テーマ「薬剤師の在宅訪問でできること」

グループワーク講師 こぶし薬局管理薬剤師 小野寺 佳美 氏 14:05~15:00

グループワーク作業 15:00~16:00

プレゼンテーション、討議 16:00~16:30

4 閉 会 16:30

---

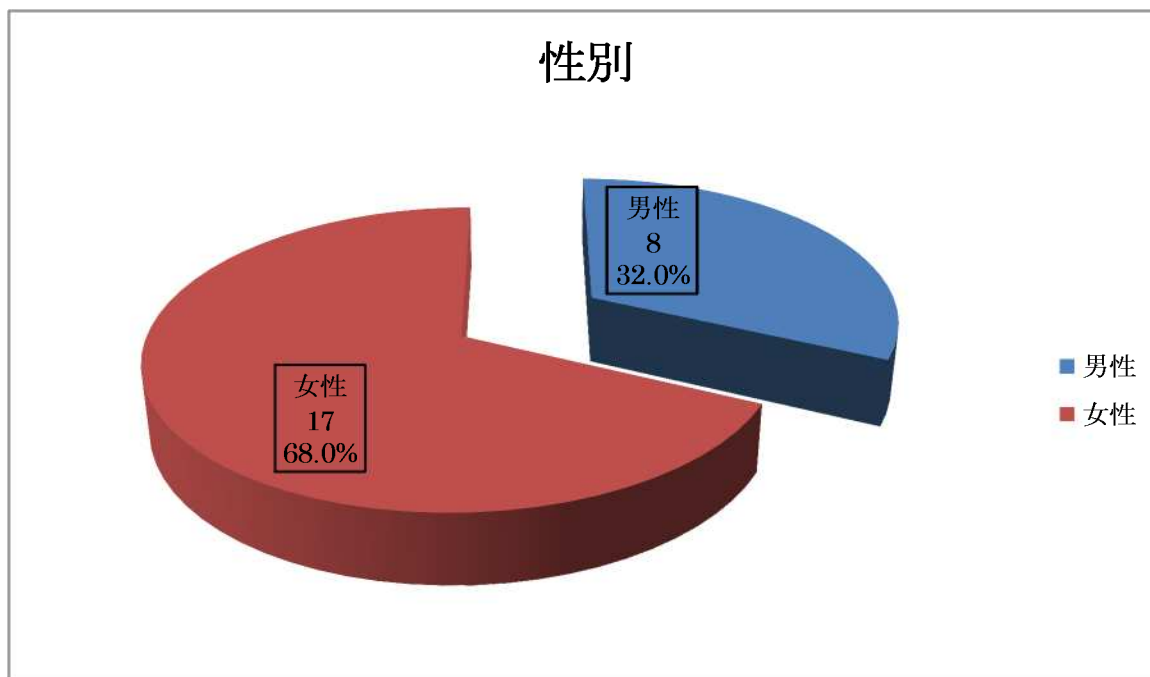
## 2 アンケートの集計結果

回答者数 25 人 (回収率 83.3%)

### 質問1 性別

男性 8 人 (32.0%)

女性 17 人 (68.0%)



### 質問2 年齢

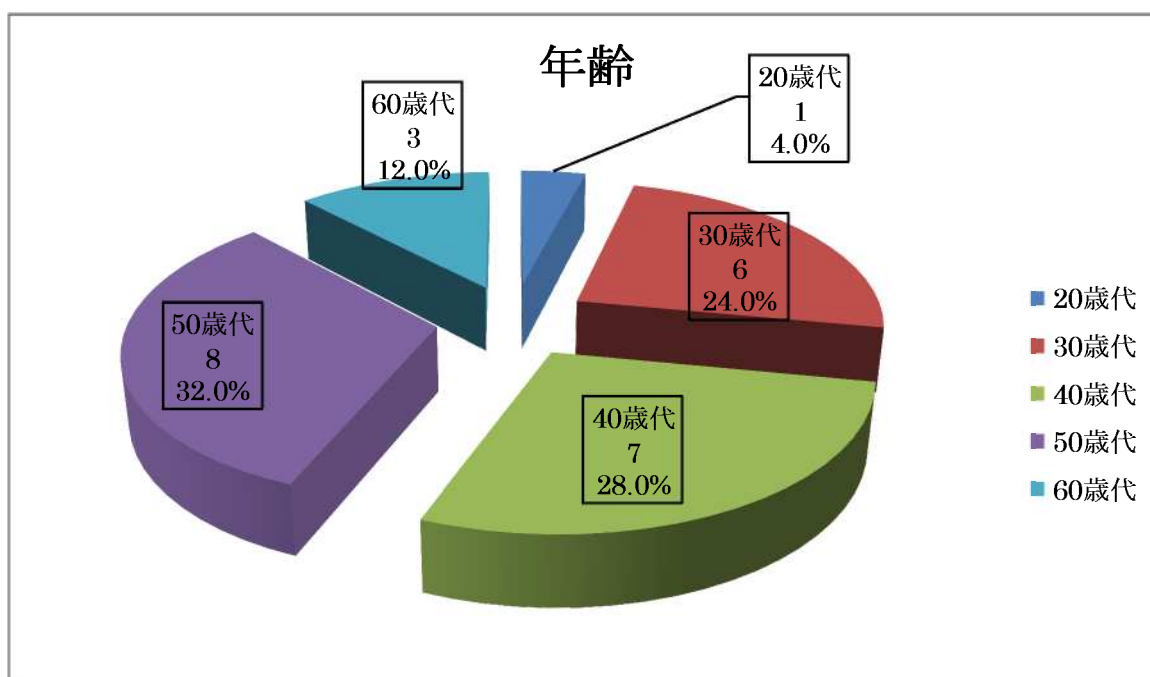
20歳代 1 人 (4.0%)

30歳代 6 人 (24.0%)

40歳代 7 人 (28.0%)

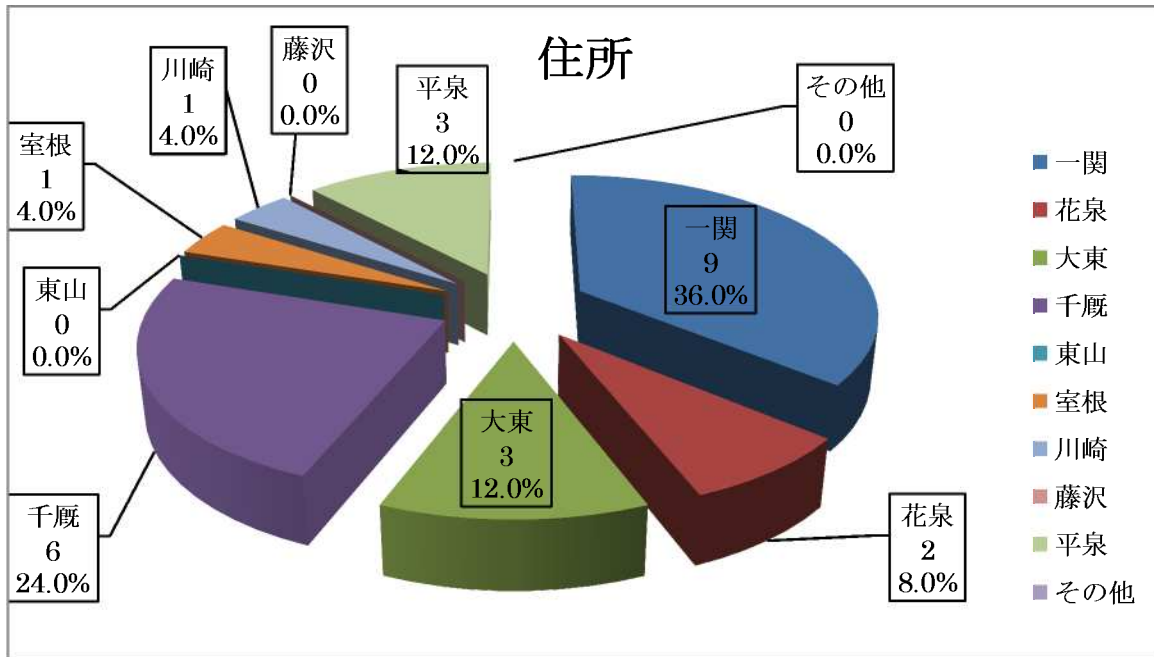
50歳代 8 人 (32.0%)

60歳代 3 人 (12.0%)



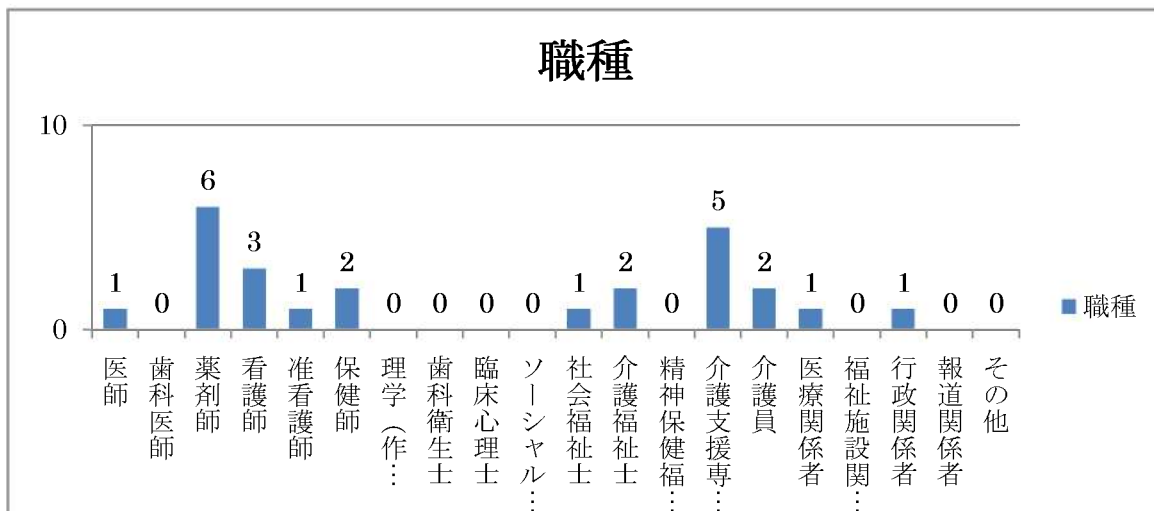
質問3 住所

一関	9人 (36.0%)	花泉	2人 (8.0%)
大東	3人 (12.0%)	千厩	6人 (24.0%)
東山	0人 (0.0%)	室根	1人 (4.0%)
川崎	1人 (4.0%)	藤沢	0人 (0.0%)
平泉	3人 (12.0%)	その他	0人 (0.0%)



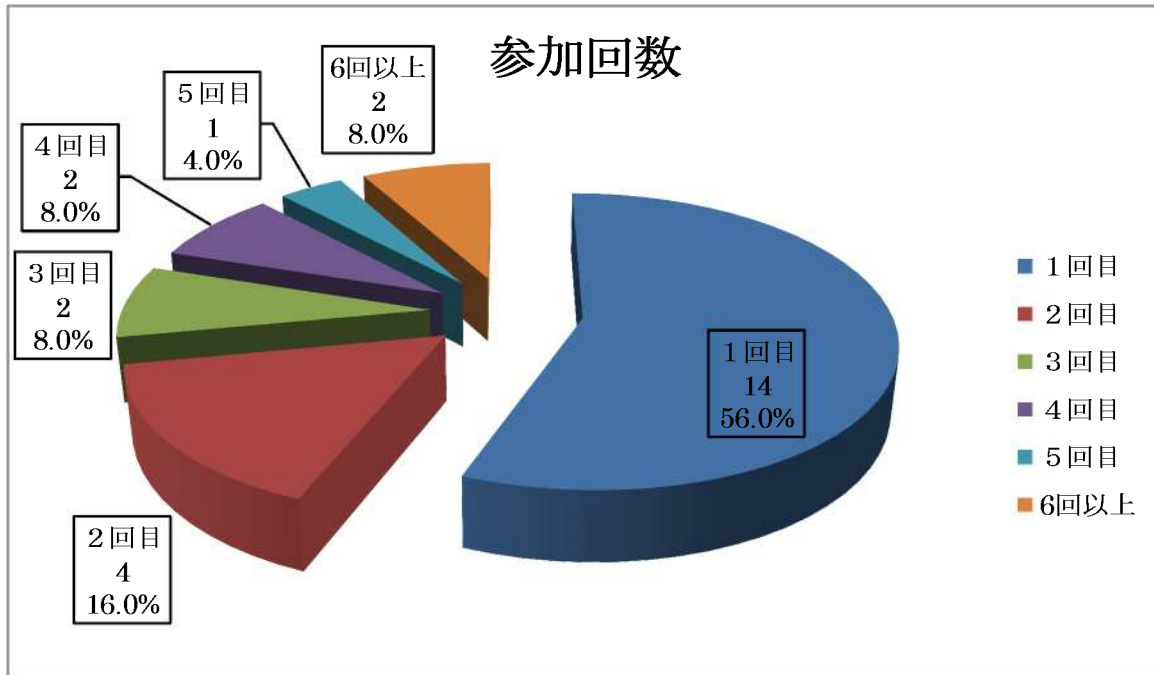
質問4 職種

医師	1人 (4.0%)	歯科医師	0人 (0.0%)
薬剤師	6人 (24.0%)	看護師	3人 (12.0%)
准看護師	1人 (4.0%)	保健師	2人 (8.0%)
理学(作業)療法士	0人 (0.0%)	歯科衛生士	0人 (0.0%)
臨床心理士	0人 (0.0%)	ソーシャルワーカー	0人 (0.0%)
社会福祉士	1人 (4.0%)	介護福祉士	2人 (8.0%)
精神保健福祉士	0人 (0.0%)	介護支援専門員	5人 (20.0%)
介護員	2人 (8.0%)	医療関係者	1人 (4.0%)
福祉施設関係者	0人 (0.0%)	行政関係者	1人 (4.0%)
報道関係者	0人 (0.0%)	その他	0人 (0.0%)



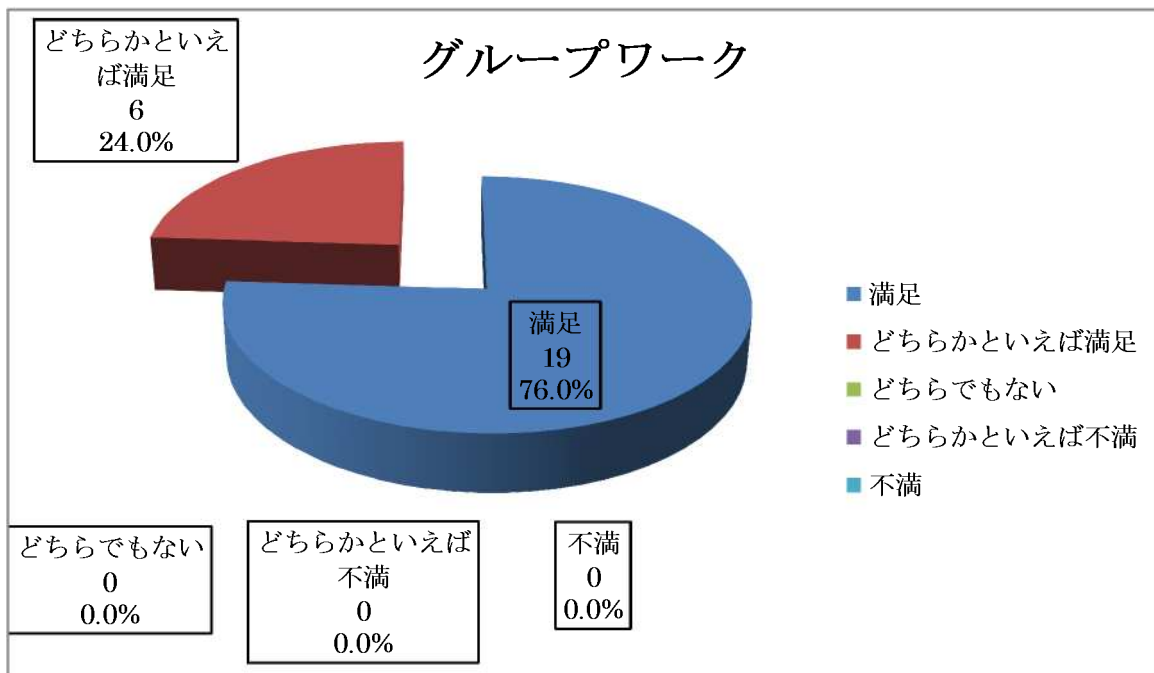
質問5 参加回数

1回目	14人 (56.0%)	2回目	4人 (16.0%)	3回目	2人 (8.0%)
4回目	2人 (8.0%)	5回目	1人 (4.0%)	6回以上	2人 (8.0%)



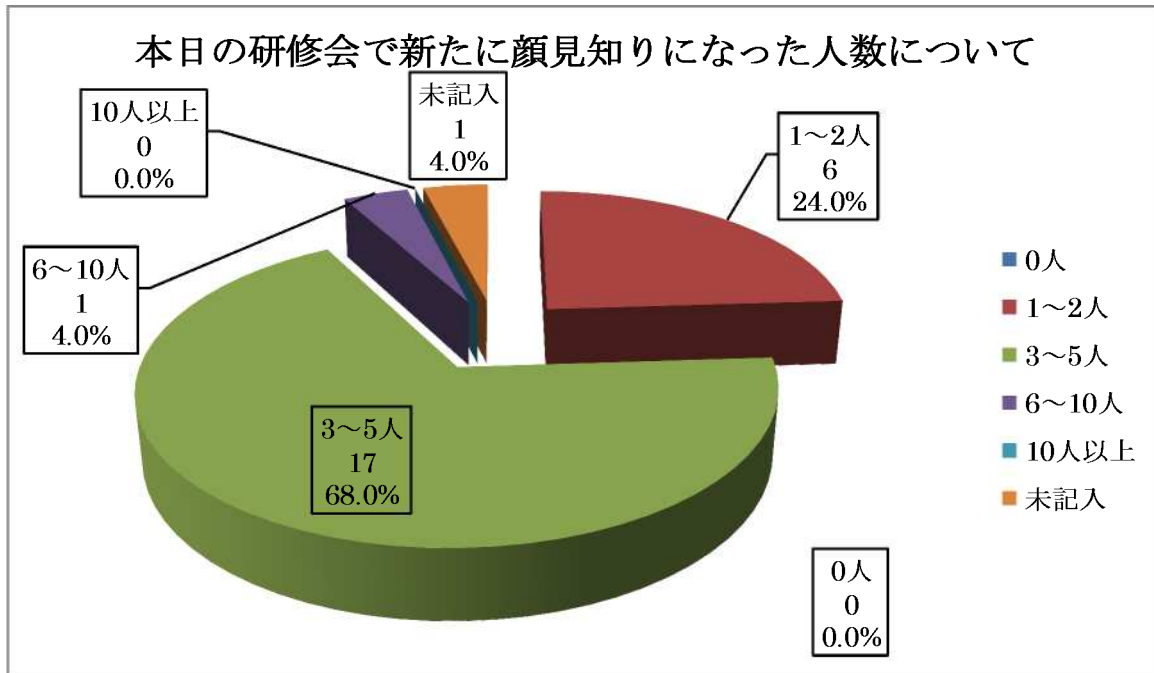
質問6 グループワークについて

満足	19人 (76.0%)	どちらかといえば満足	6人 (24.0%)
どちらでもない	0人 (0.0%)	どちらかといえば不満	0人 (0.0%)
不満	0人 (0.0%)		



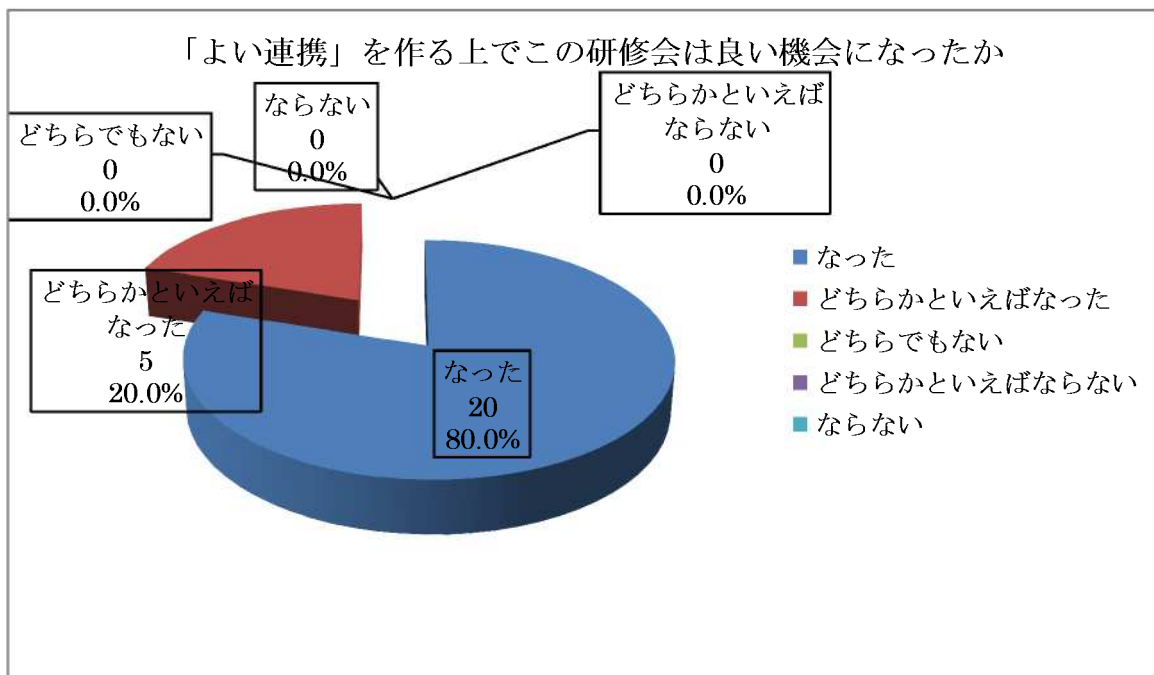
質問7 本日の研修会で新たに顔見知りになった人数について

0人	0人 (0.0%)	1~2人	6人 (24.0%)
3~5人	17人 (68.0%)	6~10人	1人 (4.0%)
10人以上	0人 (0.0%)	未記入	1人 (4.0%)



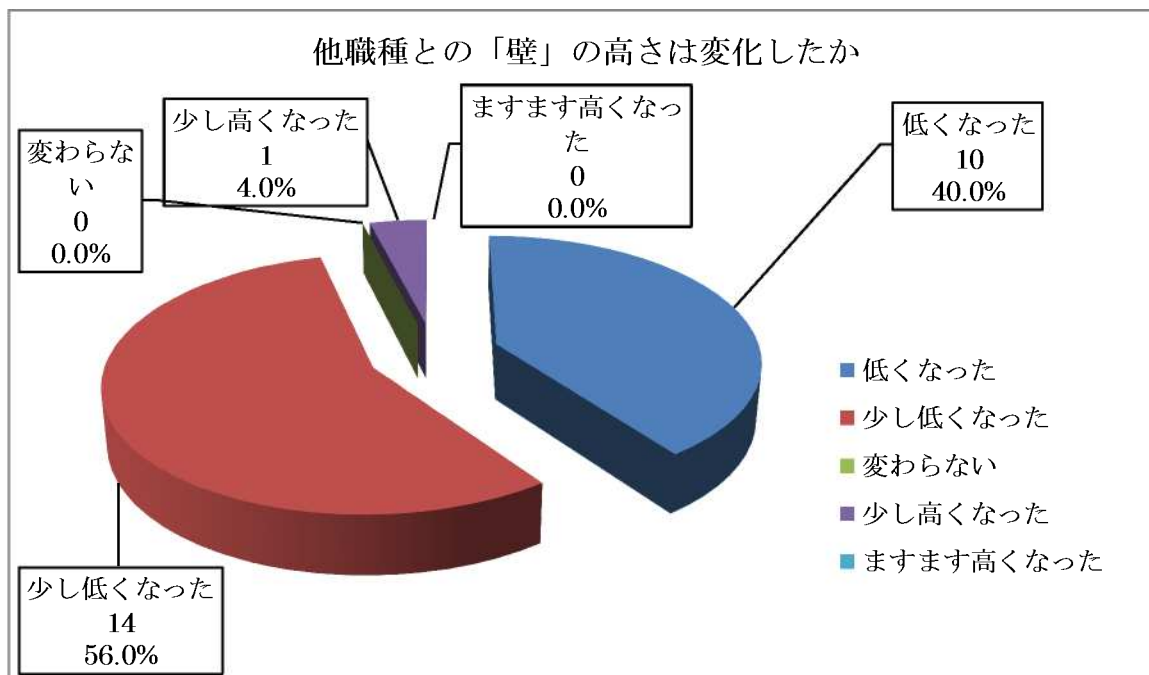
質問8 「よい連携」を作る上でこの研修会は良い機会になったか

なった	20人 (80.0%)	どちらかといえばなった	5人 (20.0%)
どちらでもない	0人 (0.0%)	どちらかといえばならない	0人 (0.0%)
ならない	0人 (0.0%)		



質問9 他職種との「壁」の高さは変化したか

低くなった	10人 (40.0%)	少し低くなった	14人 (56.0%)
変わらない	0人 (0.0%)	少し高くなった	1人 (4.0%)
ますます高くなった	0人 (0.0%)		



質問10 医療と介護の連携に必要なことは何だと思えますか？ご意見をお聞かせ下さい。

(医師)

- ・相手を理解すること。

(薬剤師)

- ・他職種と連携し、それぞれの知識や技術などを活用していくこと。
- ・他職種の理解を深める。
- ・顔の見える関係 + 相互理解 + 討議。
- ・いろいろな職の特性を十分知らない。
- ・気軽に情報交換ができる関係づくり。雰囲気。
- ・各職種の方の専門的な職種内容の理解がとりあえず必要と感じました。
- ・どの職種の方が、何をできるのか、何をしているのか、私自身、大変不勉強であった。
- ・患者さんの家庭状況など個人さんの情報、人間関係、の基本的な把握が服薬指導をされていて必要。

(看護師)

- ・薬について悩むことがある場合に相談できることを知りました。
- ・訪問看護を入れることが重要だと思う。
- ・看護が連携の要 (かなめ) であることを知ってもらいたい。
- ・薬剤師との連携もとても大切だと感じた。とても勉強になりました。

(保健師)

- ・他職種の仕事を知ること。

(社会福祉士)

- ・多職種間の理解。

(介護福祉士)

- ・絶対的に必要なことだと思います。  
もっと医療の立場の方と意見交換ができれば良いのにとと思います。
- ・利用者の負担額が低くならないとどんなサービスも使う人がいないと思います。

(介護支援専門員)

- ・切れ目のないケア。
- ・このような研修会の積み重ねだと思います。
- ・今回の研修の様な機会。気軽にできるコミュニケーションの機会。
- ・気づいたことは、小さなことでも 報告 連携 をとってゆく。
- ・自分の心の壁。

(介護員)

- ・大事な話聞き勉強でした。

質問 11 一関市で取り組んでほしいことや、医療と介護の連携連絡会等で希望する研修内容やテーマをお聞かせ下さい。

(医師)

- ・嚥下リハビリテーション 牛山京子さん。

(薬剤師)

- ・研修会の結果等をフィードバックして欲しい。

(看護師)

- ・認知症の方との関わりについて。
- ・認知症研修会を希望。
- ・今回の様な専門的な発表とそれに付随した連携の成功事例や失敗事例をまとめグループワークするのもおもしろいと思います

(保健師)

- ・認知症の地域での取り組み、見守り。

(介護福祉士)

- ・現場の方だけでなく、役場の職員も勉強して欲しい。
- ・訪問介護職ができる医療行為。

(介護支援専門員)

- ・訪看さんと介護の連携。
- ・訪看の役割等のテーマ。

自由記載欄

(看護師)

- ・医師、薬剤師、看護師、ケアマネ、介護員、それぞれの立場、責任の所在をしっかりと把握する必要があると思いました。  
服薬管理は医師、薬剤師、看護師の業務であり、ヘルパーさんは服薬確認までです。薬事法、医療法をしっかりと学ぶことも重要だと思います。  
お金の問題ではないと思います。薬剤師の訪問よりもヘルパーが安価とは・・・ちょっといやあまりにも次元が低いと思います。もっと法律を知ってもらいたいです。  
※専門性のすみわけが重要だと思います。